

【予定】2027（令和9）年度 農学専攻の定員増員について

2027（令和9）年度総合理工学研究科改組に伴い、農学専攻では、農学の学問分野における生命科学領域の重要性に対応するため組織を改編し、学部学生の修士進学者の増加に対応するため定員増員を行います。（現在計画中であり、今後変更が生じる場合があります。）

- ・生命工学系の教員組織を充実。農学分野における生命科学領域の教育機能を底上げ、専攻全体の組織改編を行う。
- ・農学の学問領域では遺伝子工学、細胞工学的な研究手法が必要。DXに加えBXの素養を持つ人材を育成。
- ・入学定員を15名増員。修士進学者の受入先のニーズに応える。
- ・農学部における学部-大学院6年一貫教育プログラム導入にも対応。

現行の分野

農学専攻

入学定員65名 教員57名

先端生命

入学定員：16
教員：12

食品生命

入学定員：17
教員：11

生物資源

入学定員：16
教員：16

環境共生

入学定員：16
教員：18

生命医工学専攻

生命工学

入学定員：20
教員：9

改編後の分野

農学専攻

入学定員80名 教員60名

生命・食品科学分野

入学定員：32 教員：20(生命工学から5名異動)

生命現象を追究し食と健康を科学。改組により生命工学領域が強化され、バイオデータ基盤の構築が促進される。微生物による有用物質の生産、蛋白質解析による疾患治療の開発等の教育研究が促進される。

学部教育と連携：生命・食品科学コース

食料生産システム科学分野

入学定員：30 教員：22(生命工学から4名異動)

動植物資源を利用した持続可能な循環型食料生産を科学。改組により生命工学領域が強化され、生物工学による動物・植物生産の教育研究が加速。農業分野のカーボンニュートラル研究が集約。

学部教育と連携：食料生産システム科学コース

山岳圏森林・環境共生学分野

入学定員：18 教員：18

信州の立地を活かし、自然環境と人との共生関係を科学。森林や農村における環境共生・ネイチャーポジティブ研究のみならず、山岳圏災害の防止技術、人工衛星や航空機による環境や地形の計測技術を持った人材の育成を強化。

学部教育と連携：山岳圏森林・環境共生学コース

2027（令和9）年度入試の詳細は、4月公表予定の学生募集要項をご確認ください。